

## 今回は、国語科の授業改善の報告です！

「高等学校学習指導要領の改訂のポイント」では、「主体的・対話的で深い学び」を中心に据え、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力、③学びに向かう力、人間性の3つの柱が挙げられている。

国語科では、③「学びに向かう力」を育成し、それを土台に②「思考力、判断力、表現力」を伸ばしていくことを目指し、改善を行っている。

### ◇ 研究授業

日時：2019年1月30日（水） 5限

対象：1年5組 βクラス（20名）

担当：田中 園絵

科目・単元：国語総合（古文）

『土佐日記』『馬のはなむけ』『帰京』

学習活動：①時代背景や資料をもとに、作者が女性仮託した理由を考える。

②作者が『土佐日記』を書いた目的を考える。

〔設定意図・詳細〕

先に挙げた改訂のポイントにおいて、国語科の改善事項には、

○科目の特性に応じた語彙の確実な習得と、主張と論拠の関係や推論の仕方など、情報を的確に理解し効果的に表現する力の育成（言語能力の確実な育成）

○我が国の言語文化に対する理解を深める学習の充実（伝統や文化に関する教育の充実）が挙げられている。本授業では、「推論の仕方」を学び、「情報を的確に理解し効果的に表現する」ことを目指し、答えが複数考えられる問いを設定した。答えが一つでない問いについて、自分なりの根拠をもって考えることが、「推論」し、「効果的に表現する」ためには有効だと考えたためである。

#### ①「仮名を選択した理由」・「女性になりすました理由」を考える。

当時の日記が「男性」が「漢字」で書く「公的」な日記であったことを踏まえると、女性仮託の理由を考えるには、

A：当時は女性が用いることが多かった「仮名」を使いたかった

B：「男性」ではなく「女性」になりたかった

という二つの可能性があるため、「仮名」と「女性」である利点をそれぞれ考えた。

なお、Aを考える際、同時代に書かれた私的な内容の漢文体の日記を知ることで、「私的な内容を書きたかったため」に終始せず、「仮名であるとなぜ私的な内容を表現しやすいのか」まで考えることができた。



◎土佐日記「男か女か」といふこと、女でして見せしめるもの。」

目標 **〇仮名で書かれた日記を読み、その理由を考察する。**

②女性になりすました理由を考察しよう。

当時の日記：男が漢字で書く「公的」な記録  
土佐日記：女がかなで書く「私的」な日記

★当時の文字：漢字 かな 仮名 文字（和歌では男も使う）

①男だけ、仮名で書く（男も使う日記といふものを、女もしてみむとて）  
②女になるけど、（従来の日記の形式に合わせて）漢字で書く。  
③女になり、（その文字に合わせて）仮名で書く。

〇「女」になって「仮名」で書かれた、どのような理由があるのか？

なぜ仮名を選んだのか？  
土佐日記と同時代、私的な内容を書き留めた漢文日記もある！  
『馬のはなむけ』の漢文日記の写本を参考に、当時の私的な日記の形式を比べてみよう。

「旅の陣時、...の消息を返へ曰ふ...その色、顔は赤して生き々、速速色ある、此れ独り思ふの如し...其の行歩する時...恰も堂上の馬鹿の如し...亦、能く夜露を指へること、他に勝る...」

Ⅱ漢字で書かれた私的日記以外を目的とした日記は書かれません。

平安時代前期の漢文日記の写本

ワークシート ①

## ②紀貫之が『土佐日記』を書いた理由を考える。

上記のA・B、二つの理由を踏まえ、作者が本作に描きたかったもの、または本作によって広めたかったことを考えた。

また、考える際に、「私（僕）は、紀貫之は～ために『土佐日記』を書いたのだと思います。そう考えた理由は～からです。」という枠に合わせて、全員が自分の考えに根拠まで持つことができた。

<p>（授業の感想）</p> <p>ワークシート②</p>	<p>かからず。」「本文の書写・当時の時代背景・紀貫之という人物…を踏まえて考えてみよう。」</p>	<p>ために『土佐日記』を書いたのだと思います。そう考えた理由は、</p>	<p>◎土佐日記 一年 組 氏名</p> <p>○紀貫之は『土佐日記』をどのような目的で書いたのだろうか。 （仮）紀貫之は『土佐日記』をどのような目的で書いたのだろうか？吐きたかった？広めたかった？</p> <p>私（僕）は、紀貫之は</p>
-------------------------------	--	---------------------------------------	---

[生徒記述例]

### □弱音を吐くため

女文字を使うことで、強くなければならぬ「男」という立場から離れ、自分の娘を亡くした悲しさを嘆くことができていたから。

### □自分を見つめ直すため

他者から見た自分の姿や、ありのままの感情が表現されているから。特に娘との死別の悲しみについての表現は直球的である。

### □一般の人とは違う人も同じように生きていることを伝えるため

（公的な記録でなく、私的な内容を書くことで、）身分が違っても生活の場所は変わるが、どの身分でもきれいなものはきれいな、悲しい出来事は悲しいと思っていることを伝えたかったのではないかな。

### □男は真（の）名、女は仮（の）名という差別を無くし、

女性も日記を書くことができるという事実を世の中に伝えるため

女性差別をなくしていくために、女性の心情やありのままを世の中の人に広めるために書いたのではないかな。

[授業者のふりかえり]

当時の日記文学について、「情報を的確に理解」できた。そして、女性仮託という問題を二つの角度に分けて考え、挙げられた様々な意見から、制作意図について自分なりの答え出すという「**推論の仕方**」を知ることができた。さらに、自分なりの根拠をもって意見を書くことで、「**効果的に表現する**」ことへ、一歩近づけたのではないだろうか。

しかし、生徒の記述内容や授業の発言を踏まえると、次のような**反省・改善点**も挙げられる。

### △グループワークの有効活用

理由を考える際や、最後の記述内容の交流等も、ペアのみでなく、グループで考えると、より多様な意見に触れ、「答えが一つでない問い」を考える楽しさや深まりを実感することができたであろう。

### △平安文化に対する理解の不十分さ

「平安時代の漢字と仮名」「平安時代の男女観」について、調べ学習等をしたのちに、この課題について考えると、より明確な根拠を持ち、より深い意見をつくることができたのではないだろうか。

授業中に「正解ないの？ 出た。自分が一番嫌いなパターン。」と発言した生徒がいた。それに対し、「そんなんじゃ生きていけないよ。」と笑って返した生徒がいた。社会に出たら、いや、目前に迫る大学入試でさえ、「自分なりの意見」を求められる場面が増えてきている。そのようなときに彼らが胸を張って発言できる人になれるよう、授業改善を続けていきたい。